

ピアホームだより

2019. 8.10

第3者評価に向けて

一東京都福祉サービス評価推進機構HP一
目的

第三者評価の大きな目的は、

- 「利用者のサービス選択」及び「事業の透明性の確保」のための情報提供、
- 事業者の皆さんのサービスの質の向上に向けた取り組みの支援の2点です。

メリット

気づき

- ★利用者調査を行うことで、潜在化した利用者の評価や意向を把握できます。
- ★経営に詳しい評価者もいるため、経営面で新たなヒントを見つけることができます。

PR

- ★利用者本人や家族、地域の皆さんに、事業者としての考えや取り組み、事業所の強みをPRできます。

★他事業所の取り組みと比較することで、事業改善のヒントを得ることができます。

公表

評価結果は、事業者の同意を得た上で、とうきょう福祉ナビゲーション（通称：福ナビ）で公表します。評価結果では評価を実施した評価機関や評価者の情報なども掲載しています。

実施内容

第三者評価では利用者の声を聞く『利用者調査』と、事業者のサービス内容や組織経営を評価する『事業評価』を行います。現在の利用者のサービスに対する意向や満足度を把握 ○「利用者調査」は「アンケート方式」、「聞き取り方式」、「場面観察方式」が設定され、利用者の状況に応じた方式で行います。

当所の取り組み

都は、30年度から令和2年後の3年間の内に受審との方針を出しました。当初では、中間年の今年度、事業計画の中に入れ、春より取り組みを始めて来たところです。

各事業所同じ考えをしているようで、2

年目の今年度は、評価機関への依頼が殺到しているようで、接触した多くの評価機関は来年度ならOKとの回答を頂いたところが多くありました。そんな中から

- 1 見積もりを板がいた評価期間
地域ケア総合評価機構
医療福祉経営
- 2 問合せし来年度
NPO法人人材開発機構
社団法人 サフラン

3 案内を頂いた一福祉推進機構アシスト
今後、見積もりを頂き、検討の末、医療福祉経営に決定し、スケジュールについて打ち合わせを行うことになりました。

当所の動き

- ① Iさん体験50日をトライしたが、入所1週間で緊急入院となった
- ② かねてよりヘルパー導入を考えていたYさんに、自費で24日より入ることになりました。種々の問題点が浮き彫りになっています。

今月の予定

<8月28日>第3者評価業者と打ち合わせ